

共に学ぶ

学校支援ボランティアセンター (SSVC)

第35号 (年2回発行)

狭山市学校支援ボランティアセンター
＜事務所＞

狭山市狭山台1-21

狭山元気プラザ内A棟3F

☎/Fax 04-2927-1395

E-mail: sayama-ssvc@bd.wakwak.com

電話受付：月・水・金曜日午後1時～4時迄

「共に学び、共に伸びる」狭山市教育委員会 狭山市立教育センター所長 坂木 裕子

小学校勤務時代、「学校とはどういうところ？」と子供たちに尋ねると「勉強するところ。」という答えが返ってきます。子供にとっては「先生から勉強を教えてもらう場所」というイメージが強いからかもしれません。しかし、子供は先生から教わるだけではありません。子供同士や家庭、地域の方々など、関わり合う全ての人から学んでいきます。子供時代に関わり合った人が多様であればあるほど、人としての幅が広がり、コミュニケーション力を高めながら自律した大人へと成長します。そのような面から見ると、SSVCの皆様の支援活動は子供の経験を豊かにしていると感じます。実際、先生とも家族とも違う大人に寄り添い認めてもらうことで、喜びと自信を深めていました。また、子供に関わる大人にも大きな学びがあります。子供がうまくいかない姿を見ると、伝え方が悪かったのかと反省し、子供がうまくできると何が良かったのか

と振り返り、子供の姿を鏡のようにして自問自答を繰り返し大人も成長しているのです。学校が、子供も大人も、共に学び、共に伸びながら、自己を磨き、豊かな人生を送る土台をつくる場となるよう、今後も努力を重ねていきたいと思います。



今、学校教育は大きな転換期にきています。同じようにみんなそろえる教育から、違いを認め一人一人を伸ばす教育へ。多様性を認め、人権を尊重し、誰一人取り残されない教育の実現を目指して、次世代を担う“さやまっ子”が、生きる力を備え、未来に羽ばたく日のために、引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。

ほめ上手な支援者を目指して

知人に薦められて、2019年に主婦の友社から出版された「秋田県東成瀬村のすごい学習法」という本を読みました。教育長の「やる気のない子どもはいません。やり方がわからなくて困っているだけなのです。」という発言が印象的でしたし、校長先生の「学力に特効薬は無い。大切なのは子どものやる気を引き出すように、何度も働きかけること。」という言葉にも共感しました。私の体験では、学年が進むに連れて、テストの成績などから、徐々にやる気を失う子が多くなるように感じています。どこで／何で分からなくなるかは十人十色なので、一人ひとりに寄り添った支援が大切ですし、学校の先生とは違う大人との接触は、子どもたちの体験の幅を拡げることになります。

SSVC 事務局長 山田 恵一

また、毎年4月に実施される「全国学力・学習状況調査」では都道府県や市町村別の正答率が話題にされていますが、学力テストと一緒に、PCやタブレットなどに使っている時間や、朝食をきちんと食べているか、などのアンケート調査も行われています。埼玉県教育委員会から公開されているデータを見ると、規則正しい生活を送っている生徒ほど学力テストの正答率が高いことが読み取れます。

SSVCの活動として、コロナ禍を契機に多くの学校で家庭学習／自主学習ノートのコメント付けの依頼を頂いていますが、子どもたちのやる気を引き出せるよう、ほめ上手になる努力を続けて行きたいと考えています。

SSVCの人材をどのように集めているか ⑥

～～今までを振り返り、エピソードや今後の展望などシリーズで掲載中～

前 SSVC センター長 諸井 寿夫

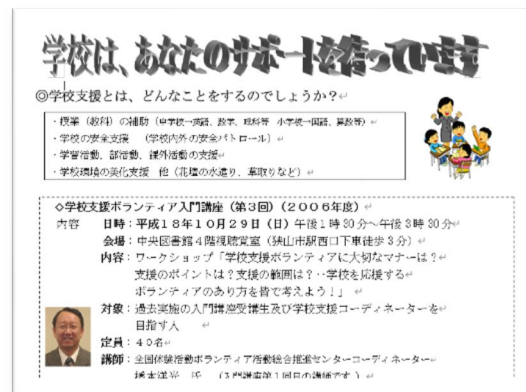
「企業は、人なり」と松下幸之助さんの言葉ですが、SSVCも全く同じで、素晴らしいボランティア人材が最大の強みです。SSVC人材バンクの多い時の登録者は400名程でしたが、高齢化、コロナ禍などの環境の変化により減っています。学校の要請に対してスムーズに対応するだけの確保が必要です。支援ご希望の本人に直接インタビューして、信頼性、人柄を確認させてもらい、SSVCですと名乗って学校内、教室に出向いてもらいますので、それだけ緊張感、責任感もあります。

センター設立前後は、多くの学校支援セミナー、研修会を実施し参加者募集を兼ねましたが、基本的な活動内容や心構えなどを学びました。例えば、「子どもを褒めることが必要」私の事例ですが机間支援中とてもきれいな文字でノート書きしている子供を褒めてあげることなどでした。余談ですが、現役時代に人を褒めると3倍の仕事をしてくれると言われたことを思い出します。

学校支援員の応募は、広報さやま、ホームページ、その他のメディアを活用して、応募者を募りますが、そもそものきっかけは、市民大学（当初SSCC）であり、その修了生の活躍の場として、スタートしています。

従って、市民大学の講座終了時には、各教室にお邪魔して、勧誘をしますが、講座によって、既に興

味を持って
いただい
ている受講生
もあり、特
に英会話修
了生では、
即戦力にな
り、多くの
方に支援を
頂いております。



研修パンフレット 2006（平成18年）

そして市民大学の講座に「学習支援員養成講座」があり、毎年少人数の受講生ですが、SSVCの活動にとっても大きなパワーとなっています。開設当初は、大学の運営、予算面などでハードル多くありましたが、当時事務局長の猪股さんに講座リーダーをお願いし、講座運営にご尽力を頂きました。このように市民大学修了生に登録いただき、支援員、運営委員、CNとして、SSVCの継続と発展に貢献いただいております。

しかし現在、高齢化による体力の低下、配偶者の介護、コロナ禍により支援活動をしなかったことによる意欲の低下などで、登録者が減る傾向にあり、これから学生など幅広い年齢層へのお声掛けが必要かと思えます。

（次予定 学校支援活動に大きなキーマンとなるCNの存在 ⑦）

学習支援員養成セミナーの告知

我々が生活している社会も大きく変化しています。昨今の天候不順や災害の多発、新型コロナウイルスの感染拡大など、これまでの常識が覆されつつある現状に直面しています。

教育の場でも、固定された知識や方法を教え込むだけでなく、自ら考えて問題を解決する能力や柔軟性を育てることが必要となっています。

学校現場に入り学習支援をするボランティアとしては、教育に対する考え方が、今と昔では違っていること、互いの違いを認める多様性の課題などを、改めて学習しなければなりません。学校の学習を支援するボランティアとして、私たちは、古い概念や思い込みにとらわれず、子どもたちのニーズに応えることができ

SSVC 学習支援員養成セミナー担当

るように、常にアンラーニング（学びほぐし）をして、学びを継続しなければなりません。

そのために、わたしたちの学びほぐしの場として（共に学ぶ場として）、学習支援員養成セミナーを開設します。内容は、新しい学習指導要領、新しい社会（インクルーシブ教育など）、子供の心理、各教科については、どのように学校で教えられているか、また、私達が、ボランティアとして遭遇した事例のケーススタディ、学校現場の見学などを予定しております。この紙面が出る頃には公募のチラシが出ていると思いますので、ぜひとも多くの人に（既にボランティアとして参加されている方も）セミナー受講をして頂いて、ボランティア登録をお願いします。



校長先生 こんにちは 34

有り難いご支援に感謝

狭山市立柏原中学校 校長 稲葉 正

SSVCの皆様、そして、保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して、ご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本校は、昭和57（1982）年4月1日、狭山市立西中学校から分離独立し、柏原地区のみを通学区域として開校し、43年目を迎えました。柏原小学校と1小1中の学校であり、今年度は各学年3クラス、特別支援学級1クラス、全校生徒数255名の学校です。

私は、SSVCの方々には狭山台中・柏原中時代からお世話になっておりました。小テストの丸付けや直接、授業支援に入っていただき、授業中、理解に戸惑っている生徒に丁寧に教えていただきました。教師1人では対応できない部分の支援はとても有り難く思っておりました。

現在、本校では、SSVCの方々に自主学習ノートの点検、小テストの丸付け等の支援をしていただいております。特に自主学習ノートについては、個別にコメントを付けてい



ただき返却をしています。生徒は書いていただいたコメントに励まされ、継続的な学習へとつながってまいります。

また、他市町村の先生方との研修会等で、「狭山市にはSSVCという団体があり、様々な支援をしてもらっている」と話をすると、誰からも「素晴らしい」「うらやましい」との反応が返ってきます。SSVCの存在は、学校にとって大変有り難いものです。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度2回目全体CN会議を開催

令和5年度2回目の全体CN会議を3月18日（月）13:30～16:30、元気プラザ大会議室で開催しました。今回は狭山市社会教育課小暮社会教育指導員のご協力を頂き、「狭山市の地域学校協働活動（SCSC）について」のテーマで講演をして頂きました。内容は狭山市が取り組み始めたSCSCの説明で、バックグラウンドとなる必要性と事例を踏まえて分かり易く、教育行政の取り組みと地域と小中学校が連携・協働して実現していく取り組みについて説明がありました。まず、「狭山市地域学校協働活動：Sayamashi Community School Collaboration」の頭文字をとってSCSCとの説明があり、幅広い住民等の参画を得て「学校を核とした地域づくり」を目指して連携・協議して行う様々な活動の事である。また、学校運営協議会については「熟議」にて、学校・地域の抱えている課題を把握して、何を実現するか「目標・ビジョン」を共有し、取り組み方法などを検討するとのお話もありました。SCSCの例も交えたお話があり、最後にキーワードとして『つながり』『Win-Win』が重要で、児童生徒が喜び、学校での教育内容が充実して、地域が変わることが必要であると講演して頂きました。

人材バンクグループ 有田 茂

参加したCNさんから「防災におけるSCSCの役割」「不登校児童生徒へのSCSCの対応」などの多くの質問が出て、関心の高さが伺えました。

SSVC活動報告では「さやまっ子学習支援員養成講座」「HPについて」「アンケート調査の結果報告」がなされ、続いてブロック会議でアンケートについてまとめた意見がブロック長から報告されました。またCN全員から「アンケート調査の結果」「共に学ぶ」「HP」「学校支援」について多くの参考になる意見を頂きました。



狭山市社会教育課
小暮社会教育指導員



全体コーディネーター会議の様子

支援いろいろ 昔遊びの魅力とその広がり

広報グループ

昨年、狭山台小、奥富小、入間川小、御狩場小の低学年生を対象に、地域の人々やボランティアと共に「昔遊び」を体験する授業が行われました。SSVCもボランティアとして参加しました。

この取り組みをつうじて、

- 文化遺産の継承
- 身体活動の促進（外で遊ぶ）
- 創造力の育成（道具が単純）
- 世代間のコミュニケーション

が可能になると考えます。

では、どんな遊びがあったのでしょうか。ある小学校で実施された昔遊びです：

あやとり

お手玉

おはじき

ケン玉

コマ回し

竹馬

ダルマ落とし



羽子板

福笑い

ビー玉

メンコ

カルタ取り など

いくつ、あそべますか？



ボランティアとの交流

多くの学校では、地域のボランティアが昔遊びを教えるために参加しています。これは、地域社会全体の絆を深める素晴らしい機会でもあります。昔遊びに精通している方は、ぜひSSVCに登録して、ボランティアとして参加し自分の技を子どもたちに伝えてください。

（精通しなくても「しったかぶりマニュアル」というものもあるそうです。）



2023 年度支援実績

昨年度は、新型コロナの分類が5類に移行し、対面での支援要請が増えました。1学期は、これまでと同じく家庭学習ノートやドリルなどの確認や丸付けのような非対面型の支援がほとんどでしたが、それ以降は、夏休みのサマースクール、2学期以降はミシン、九九、昔遊び、理科実験などの実技、教室に入っている授業補助など対面型の支援が増えました。対面型の支援では、支援者が子どもたちの様子を見たり、話をしたりすることができたので、支援者のやりがいにもつながりました。

支援時間は、小学校 4,111 時間、中学校 2,310 時間、2022 年度と比して、小学校で約 1,000 時間増加しました。また、支援者実人数は、小学校 150 名、中

情報集約グループ 角田 ふで子

学校 61 名、2022 年度よりそれぞれ、16 名、11 名増加しました。



	1学期	夏休み	2学期	3学期	合計
2021年度	1239時間	70時間	1231時間	592時間	3132時間
	小学校3校	小学校1校	小学校5校	小学校2校	小学校6校
	中学校3校	中学校1校	中学校3校	中学校3校	中学校4校
2022年度	1350時間	183時間	2261時間	1555時間	5349時間
	小学校8校	小学校1校	小学校9校	小学校10校	小学校12校
	中学校6校	中学校2校	中学校7校	中学校7校	中学校7校
2023年度	1774時間	296時間	2674時間	1613時間	6421時間
	小学校8校	小学校1校	小学校11校	小学校8校	小学校12校
	中学校7校	中学校3校	中学校6校	中学校6校	中学校7校

編集後記：

朝食と学力の関連について言及されている記事がありました。調べるといくつかの論文があります。そのいずれも、「朝食を規則的に摂る子どもは、そうでない子どもに比べて学力テストの成績が高い」という結論です。調査方法は、アンケートなどの分析によるものです。確かに、エネルギーを朝から摂ることで、空腹感などのストレスを感じない、持続力が増す、当然、朝起きているので遅刻しないなどはあるかと考えられます。いずれにしても、エネルギーに満ち、リズムのある生活することで活力は湧いてくると思います。私も規則正しく、活力のある生活を目指さなければ・・・(Y.K)



SSVC ホームページです。